

第4回兵庫県高校スプリング・テニストーナメント 実行委員会

大会役員

大会会長

鹿島 小太郎 (ダンロップテニススクール)

大会委員長(大会レフェリー)

足立 哲也 (ダンロップテニススクール)

大会委員 (レフェリー)

鈴木 孝之 ・ 山根 正和 ・ 泉 佳江

(ダンロップテニススクール)

進行補助員

ダンロップテニススクールスタッフ

大会注意事項

・試合球について

今大会での使用球は「ダンロップ・フォート」で、試合当日会場にて配布されます。予選、本戦1試合ごとに新球を使用しますので、試合の度に各会場本部より新球をもらってください。(コンソレーションマッチは該当しない)

試合の敗者は、その試合で使用したものを持ち帰ってください。

試合を欠席した場合は、当日に限り同じ学校の選手に持って帰ってもらえます。

1. 集合時間・出席の届け出について

集合時間は原則として8時45分で、試合開始は9時です。

集合までに、本人が更衣の上、試合ができる状態で運営本部に出席を届け出ること。この時刻に出席が届いていない場合は棄権したものとみなします。また、同じ学校選手で欠席が分かっている場合は本部に届けること。

ただし、雨天等で時間通りにコートが使えない場合は、会場で設定する試合開始時間の15分前までに出席を届ければよい。

2. 試合開始と進行

- ・原則として会場は午前9時より試合を開始する。(会場により異なります)
- ・試合はオーダーオブプレーにより原則としてドロ番号順に進行する。
- ・オーダーオブプレーに名前が貼り出された選手並びに発表のあった選手は、運営本部で試合球を受け取ること。
- ・試合は日程表に基づき進行するが、天候やその他やむを得ない理由により変更することがある。

3. 試合について

- ・清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェアを着用すること。JTAルールブック「コード オブ コンダクト」2) 服装と用具のコードに順ずる。
※特に製造業者のロゴに関して注意すること。大きさや数量に制限があります。
“長袖、長ズボン”では試合はできない。インナー・スパッツは可。Tシャツは不可。
また、靴は必ずテニスシューズを使用すること。ただし、状況に応じてローカルルールを適用することがある。
- ・時間の管理はアンパイアおよび会場レフェリーが行う。
- ・一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが判断する。

《試合の待機》

試合は進行表“オーダーオブプレー”により行うので、控えとなった選手は指定されたコートサイドで待機し、前の試合が終われば直ちにそのコートに入り試合を始めること。また“オーダーオブプレー”の表示は変更する場合があるので、待機中も常に“オーダーオブプレー”に注意すること。

時間に遅れた場合、失格となることがある。

《試合開始前に》

- ・ コートに入ったら、必ず対戦相手を確認すること。
- ・ コート内でのウォームアップは原則としてサーブ4本のみとする。
- ・ 試合は1セットマッチ、6ゲームオールタイブレイクとする。(7ポイント)、コンソレーションマッチは、試合状況によりその都度決定する。
- ・ 審判はSCU方式を採用します。ただし各コートの第1試合はセルフジャッジ、第2試合以降は、そのコートで直前に対戦した試合の敗者が、チェアアンパイアを務めること(敗者審判制)。ただし、予選時のコンソレーションマッチがある場合、試合を優先します。
- ・ コートに入れる人は、プレーヤー・審判・レフェリーのみである。ただし、シングルスの場合は各校1名のボールパーソンを認める。

《試合中》

- ・ プレーは最初のサービスから試合終了まで連続的に行われなければならない。
(20秒、90秒ルールの悪用禁止) 筋肉ケイレンについては、プレーヤーはエンド交代の時間内に限り処置を受けることができる。筋ケイレンの処置でMTO(メディカルタイムアウト)は与えられない。
- ・ 試合が終了するまで許可を得ないでコートを離れることは許されない。もし離れた場合はテニス規則に従って、失格する。
- ・ 選手は自分の側のコートに関して、「アウト」「フォールト」のみを、ハンドシグナルと声で即座に相手に分かるように伝えなければならない。
- ・ セルフジャッジの試合は、サーバーはサーブを行う前に現在のポイントを相手に分かるようにコールしなければならない。レシーバーはコールが正しいか確認しなければならない。SCUの試合もレフェリーのコールを選手は確認しなければならない。
- ・ 不適切なジャッジは会場レフェリーが権限として、オーバールールする。

※ 注意 ※

SCUはラインの判定以外の判定を行う。

プレーヤーは自分側のライン判定をする。SCUがそのプレーヤーの判定が明らかに間違っていると判断した場合は、直ちにオーバールールを行う。「今のボール入っていましたか？」とSCUに尋ねることはできない。そういう場合は全て相手側有利の判定とする。

- ・ アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認められない。
- ・ 試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。(ただし次の試合からは交換したものを使用すること)
- ・ プレーヤーは、試合中は何人からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、誰であってもプレーヤーにアドバイスをしてはならない。

- ・コーチは試合中あるいはトーナメント会場内で、相手選手、アンパイア、観客、トーナメント役員などに対して、言葉やジェスチャーを使って侮辱したり、暴力を振るってはならない。レフェリーは試合コートあるいはトーナメント会場からの退場を命じ、その選手を失格にすることができる。

《試合終了後》

- ・試合が終了したら両者の健闘をたたえ、スコアを確認した後コート中央で握手する。それをもって試合は終了したものとする。
- ・勝者は直ちにスコアを本部に報告し、敗者は原則として次の試合の審判（SCU）を行う。

4. 持ち物とごみについて

- ・持ち物（特に貴重品）は各自が責任を持って管理すること。
- ・大会会場の美化には、最大限協力しなければならない。
- ・「ごみ」は必ず各自で処分すること。
- ・「ごみ」の放置を発見した場合は、参加を制限する場合がある。

4. その他

- ・試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校に厳重に注意を行う。
- ・プレーの妨げになるので、コートサイド・通路等では騒いだり、大声を出したりしてはならない。
- ・レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレーヤーにふさわしい行動をとること。（スポーツマンシップの遵守）
- ・規則・注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は、テニス規則により失格とすることがある。
- ・『TENNIS RULE BOOK 2018』（ルールブック）などにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- ・会場には、（応援の生徒も含め）バイクや車を運転して来ることを禁ずる。

SCU (Solo Chair Umpire) について

・SCU (ソロチェアアンパイア) は両選手によく聞こえるような声でスコアをコールしなければならない。

・アウト (フォールト)、インのジャッジは自分のコート側の選手が行うので、SCUは選手のジャッジが明らかに間違っている場合以外は「アウト (フォールト)」「イン」と声を発してはいけない。(紛らわしい場合は選手のジャッジを支持し、観客などの声により判定を覆してはいけない。)

・SCUは以下の事項に関しては直ちにコールを行い、そのポイントを中止させなければならない。

「**ネット**」 ---- サービスがネットに触れてレシーバ側へ越えた場合
《レット、フォールトはレシーバーがジャッジする》

「**ノットアップ**」 ---- 2バウンドしてボールを返球した場合

「**タッチ**」 ---- インプレー中にネットに触れたり、ボールに身体や持ち物が触れた場合

「**ヒンダランス**」 ---- プレーヤーが『相手を故意に妨害』した場合
《ボールが空中にある時やアウトオブプレーになる前に声を出すなどの行為妨害した側の失点となる》

「**レット**」 ---- インプレー中に隣のコートからボールが侵入してきた場合は直ちにプレーを中断させ、ファーストサーブからやり直させる。

チェアアンパイアのアナウンス

JTA ルールブックから

- ①試合開始 試合開始前に「A(サーバー名) トゥーサーブ、プレー」
第2ゲームの最初のサーブを打つ前に、対戦相手も紹介する。
「Bトゥーサーブ」
ダブルスの場合は各選手の最初のサービスゲームの最初のサーブを打つ前に
(試合開始から第4ゲームまで)紹介する。
- ②エンドチェンジとセットブレイク
エンドチェンジとセットブレイクのときは残り30秒になったら「タイム」、残り15秒
を経過してもベンチにいたら、「15セカンズ」とアナウンスする。
- ③スコア ゲーム中のスコアはサーバーのスコアを先にアナウンスする。
「0」は「ラブ」とアナウンスする。「40-0(フォーティ ラブ)」
タイブレーク中は、大きな数字→小さな数字→リードしている選手名の順なアナウ
ンスする。「0」は「ゼロ」とアナウンスする。
「2-0(トゥーゼロ)リードしている選手名(または組)」
- ④サービスレット
「レット」のコールのあと、「ファーストサーブ」または「セカンドサーブ」をアナウンス
する。「レット セカンドサービス」
- ⑤デュースのあとのアナウンス
「アドバンテージ(選手名)」
ダブルスの場合はサーバーがアドバンテージを取ったらそのサーバーの名前を
レシーバーが取ったらレシーブする選手名をアナウンスする。
チーム対抗戦では、チーム名をアナウンスする。
ノーアドの場合
「デュース、ディサイディング ポイント、レシーバーズ チョイス」
- ⑥ゲームおよびセット終了のスコアのアナウンスの例
- ・第1セット、第1ゲームをAが取った場合
「ゲームA (選手名)、ファーストゲーム」
 - ・第1セット、第6ゲームをAが取り、3-3の場合
「ゲームA 3オール」
 - ・Bが5-4でリードしている場合
「ゲームB Bリーズ5-4(ファイブ ゲームズ トゥー フォー)」
 - ・第2セットを6-1でAが取り、セットカウントが1-1の場合
「ゲーム アンド セカンドセットA 6-1 ワンセット オール」
 - ・タイブレークになった場合
「ゲームB 6オール、タイブレーク」
 - ・スコアボードがコートにない場合、第2セット以降は奇数ゲーム終了時、ゲーム
スコアと該当するセットをアナウンスする。
「ゲームA Aリーズ、3-2 セカンドセット」
 - ・試合終了時のアナウンス
「ゲームセットアンドマッチA トゥーセット トゥーワン 4-6 6-1 7-6」
 - ・リタイアのために A選手が勝った場合
「ゲームセットアンドマッチA 5-7 5-0 リタイア」

⑦タイムバイオレーション

レシーバーがサーバーを待たせて構えない、あるいはスローペースで20秒、90秒、120秒を守らない場合。

1回目 警告

「タイムバイオレーション、ウォーニング、A選手」

2回目以降はその度に 失点

「タイムバイオレーション、ポイントペナルティー、A選手、スコア」

⑧コードバイオレーション

1回目 警告

「コードバイオレーション、ボールの乱用(違反事項)、ウォーニング、A選手」

2回目 失点

「コードバイオレーション、ラケットの乱用、ポイントペナルティ、A選手、(相手に1ポイント加算した)、新スコア」

3回目以降1ゲームを失う

「コードバイオレーション、言葉による侮辱、ゲームペナルティ、A選手、(相手に1ゲーム加算した)新スコア」

悪質な違反でレフェリーが失格を決定した場合。

「コードバイオレーション、身体に対する危害、デフォルト、A選手(違反者)、ゲームセットアンドマッチ B(勝者)」

兵庫県高校（春・夏）テニストーナメント
入賞者一覧表

兵庫県高校スプリング・テニストーナメント

	男子シングルス				女子シングルス			
	優勝		準優勝		優勝		準優勝	
第 1 回	西田 京平	川西北陵	河林 幸丸	県立芦屋	宮野 優	長 田	相本 夏樹	園田学園
第 2 回	浅井 健哉	川西北陵	三上 祐輔	神 戸	佐竹 桃香	尼崎稲園	岡村 晶	尼崎稲園
第 3 回	西村 佑介	灘	小林 奏真	灘	中村 妃友実	伊川谷	前田 美咲	西宮北

兵庫県高校サマー・テニストーナメント

	男子シングルス				女子シングルス			
	優勝		準優勝		優勝		準優勝	
第 1 回	桂 知弘	甲陽学院	橘 颯暉	明石清水	上部 真帆	伊川谷	宇野 詩帆美	伊川谷
第 2 回	三上 祐輔	神 戸	服部 剛	灘	橋本 詩織	西宮甲山	西村 綾莉	常盤
第 3 回	藤岡 大輝	須磨学園	西台 友哉	神戸科技	小川 紗里奈	長 田	中村 ひなた	伊川谷